

ニセコ町スクールミッション

「ニセコスタイルの教育」

ニセコ町において、子どもへの長期的な支援や学びの連続性の確保等の観点から、校種を越えた学校間の連携により、ニセコで学び、ニセコを愛する子どもを育てる。

ニセコ町コミュニティスクール

ニセコ町が目指す子ども像～ニセコに誇りをもち、たくましく生きる人～「地域で学び、つながりを深める」

北海道ニセコ高等学校・ニセコ国際高等学校スクールミッション

- ・ニセコ町の地域特性とその価値を十分に生かし、ニセコで学んだことに誇りを持ってたくましく生きる人を育てる。
- ・全国、全世界から多様な人々が集まるニセコ町の教育資源を活かした学びを通して、グローバルな視野を持ち、自ら課題を見つけ、失敗を恐れずに新しい価値を創造する※アントレプレナーシップを育む。
(※既存の枠組みにとらわれず新たな価値を創造する精神・姿勢)
- ・国際基準を踏まえた持続可能な地域づくりに関する探究活動を、生徒が主体となって地域とともに実践することにより、相互扶助の精神と住民参加に根ざしたニセコ町のまちづくりの充実に寄与する。

最高目標

シビックプライドを持ったグローバル人材の育成

育てたい生徒像

「シビックプライドを持ったグローバル人材」

ニセコ町や自分の関心のある地域に対して誇りや深い思い入れを持ち、世界とのつながりを意識しながら、自分の幸福な未来（well-being）の実現を通して、より良い地域を他者と協働して創造していこうとする自負心を持つ人。

育みたい資質・能力等

- ・好奇心（興味を持ち夢中になって取り組むことができる）
- ・思考力（論理的・科学的に考えることができる）
- ・判断力（情報の真偽や取るべき行動について根拠をもとに判断できる）
- ・協創力（新たな価値の創造に向けて協働して行動できる）
- ・受容力（多様な文化・価値観を理解し受容した上でその違いに対応できる）
- ・発信力（国や地域の伝統・文化に根差した自己を確立し自分の考えを発信できる）
- ・挑戦力（常識や「こうあるべきもの」という既存の考えから抜け出せる）

学校経営の基本方針

生徒がつくる学校

生徒が、それぞれの学校において教科学習等に取り組むとともに、一緒に特別活動や課外活動をつくり出すことで、「一つの学校」という思い入れを深め、学校への誇りを持つ。

生徒が生き生きと学べる学校

生徒が、※自由の相互承認の原理のもと、互いに異なる価値観を理解し、尊重し合うことを大切にするとともに、主体性と自立性を高め、自分たちでより良い高校生活をつくり出す。

(※相手が自由な存在であるということ、自由を欲する存在であるということ、互いに承認し合うこと。その上で、互いの自由のあり方を調整し合うこと。)

生徒がなりたい自分になれる学校

生徒が、各教科・科目の授業で基礎的な知識を身に付けるとともに、DXによるオンラインの学びを通して※自己調整型学習に取り組み、学力の向上とキャリアプランの実現を図る。

(※自己調整型学習：学習者が自分自身の学習プロセスを、能動的にコントロールしながら学ぶこと)

生徒が地域から愛される学校

生徒が、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方や企業・団体等と連携した実践的な学びや学校行事等に取り組むとともに、地域の社会経済活動に参加することを通して、地域から愛され応援される存在になる。

学びと生活の支援の重点目標

<学校生活の支援>～自由の相互承認に基づく共生を～

自由を相互承認できる風土の醸成

ホームルーム等において、一人一人が自由であることを認め合った上で、互いの自由を調整し合う風土を醸成することによって、判断力、受容力を身に付け、安心・安全な学校生活を実現する。

学校づくりに参画する風土の醸成

2つの学校の生徒が、一緒に特別活動や課外活動をつくり出すことによって、思考力、協創力、挑戦力を身に付け、「一つの学校」という思い入れや学校への誇りを高める。

挑戦する風土の醸成

海外研修、学校行事、部活動、NISEKO World Village、StarsUP、国内外フィールドワークなどにおいて、新しいことに挑戦することによって、好奇心や挑戦力を高める。

成長志向の風土の醸成

キャリアを展望し、高い目標を持ってそれを実現しようとする風土を醸成することによって、互いに切磋琢磨して学習し、基礎学力と思考力、挑戦力を高め、進路希望を実現する。

地域とかかわる活動の支援

地域とかかわる活動へ積極的に参加するよう促すことによって、ニセコ町への興味・関心を高め、地域の特色や課題を発見し、より良い地域づくりについて考える思考力や協創力を身に付ける。

<自主・自立の支援>～人権を尊重した支援によって大人への成長を～

人権尊重の風土の醸成

互いに異なる文化や価値観を尊重する風土を醸成することによって、豊かな人権感覚と相互扶助の精神、判断力、受容力を培う。特に1年次の学校生活や寮生活に関する初期指導に注力する。

生徒会活動への支援

合同の生徒会活動が自主的・自立的なものになるよう支援することによって、健全な学校生活の在り方を考え、より良く成長・発達していくための思考力、判断力、受容力、自己指導力を高める。

主体的な活動を支援

学校内外での主体的活動を支援することによって、地域とともに学校行事や課外活動に取り組み、好奇心、協創力、自己有用感を高め、地域から愛され応援される存在になる。

<学びの支援>～授業による学力の定着とDXによる自己調整型学習の充実、国際教育・起業家教育の一体的な充実を～

DXによる授業の充実

基礎的な知識を確実に身に付けるとともに、ロイノートやELSA for SchoolsなどのICTツールを活用し、主体的・対話的で協働的な学びを充実することによって、学ぶ意欲と協創力を高める。

自己調整型学習の充実

スタディサプリや公設塾の代ゼミサテラインを活用し、一人ひとりの理解度や進路希望に応じた個別最適な学びを充実することによって、大学進学に必要な学力と思考力を高める。

国際教育・起業家教育の充実

国内外の大学や専門学校等と連携し、データやAIを活用しながら国際基準を踏まえて地域課題を解決する学びに取り組むことによって、国際教養とシビックプライド及び起業家精神を高める。

<キャリアの支援>～個別の支援と基礎学力の向上によってキャリアプランの実現を～

全職員による組織的サポート

全ての職員が大学進学を個別に支援する体制を構築することによって、探究や主体的な活動の成果を総合型選抜や学校推薦型選抜に生かして思考力、発信力、挑戦力を高め、進路希望を実現する。

進学講習や家庭学習支援の実施

進学講習や模擬試験等の受験指導を実施するとともに、スタディサプリや代ゼミサテラインの学習を支援することによって、一般入試に対応できる学力を身に付け、進路希望を実現する。

キャリアについて知り考える機会の充実

ガイダンスの充実と地元企業説明会や大学訪問・授業体験等によって、職業や大学での学びについて好奇心を高め、キャリアビジョンを明確化して挑戦力を高める。

特色ある学びの支援の重点目標

【国際教育】～ NISEKO World Villageを中核に異文化理解と多言語能力の向上を～

・ NISEKO World Village

様々なイベントで異文化を体験したり日常的に外国語でコミュニケーションしたりできることによって、自然に外国語を話し、世界の多様な文化や言語に対する好奇心、受容力、発信力を高める。また、日本、北海道、ニセコについて学び、それらを連携大学との交流などを通じて世界と繋げることによって、国際交流に必要な思考力、協創力、発信力を高める。

・ 研修旅行

1年次の「総合的な探究の時間」「産業社会と人間」や2年生の「課題研究」、NISEKO World Villageで研修旅行先について学べるようにすることによって、マレーシアや台湾及び国内訪問先に対する好奇心、思考力、協創力、受容力、発信力、挑戦力を高める。

・ 日本語教育と日本語支援

学校設定教科・科目の「やさしい日本語 I」を開設するとともに、授業や放課後等における個別サポート等を実施することによって、日本語を母語としない生徒が、学習内容の理解を深め、日本の生活や文化に対する好奇心や受容力を高める。

・ 地域の英語教育・国際理解の拠点

ニセコスタイルの教育「英語スタイル」の拠点として、NISEKO World Villageの生徒とスタッフが、幼児センターの「英語タイム」、地域の児童・生徒が参加できるイベントや地域の大人との交流等を企画・実施することによって、好奇心、思考力、判断力、協創力、受容力、発信力、挑戦力を高める。

【起業家教育】～DXによる※¹デザイン思考と※²新結合で新たな価値の創造を～

(※¹ 潜在的なニーズを発見し解決策を導き出す思考 ※² 既存の価値を組み合わせることで新たな価値を創造)

・ 「探究の型」の習得

探究の型とは、問題解決の過程である。

- ①理解と共感では、観察・インタビュー・共感マップを通じて、当事者の視点から現状を深く理解する。
- ②問題の定義で、集めた情報を分析・統合し、「本当に解決すべき課題」を問いの形に落とし込む。
- ③アイデア発想では、ブレインストーミングや拡散的思考で既成概念にとらわれない多様なアイデアを生み出す。
- ④プロトタイプ&テストでは、アイデアを試作・実践し、フィードバックを次のサイクルへ活かす。

この4ステップを貫くのが、「新結合」という概念である。ゼロから創造するのではなく、既存の知識や経験を新たな視点で組み合わせることで、革新的な価値が生まれる。

「具体⇄抽象」「分析⇄統合」という思考軸を意識することで探究はさらに深まり、データ・AIの活用がそのプロセスを加速する。失敗を恐れない試行錯誤が、創造的な学びを育む原動力となる。

・ StarsUP (学校公認の課外活動)

- ・ 「世の中を良くする何か」に関して、大人と協働しながら①自己の研鑽となる活動(非利益)②社会的利益となる活動(非営利)③自己の利益を得る活動のいずれかあるいは複数の組み合わせからなる活動を行う。
- ・ 学校公認の生徒の主体的な課外活動サークルであり、生徒の参加は個人によるプロジェクト型とし、プロジェクトの終了をもって活動を終了する。原則として年度末に全員が活動を終了する。
- ・ 最低限の目標は、活動の成果を大学入試(総合型・推薦型)や就職試験に活かし、自身のキャリア実現を目指すこととする。最大限の目標は在学中に起業することとする。
- ・ 生徒及び外部支援者等の活動を把握し、全ての教員へ情報を共有するとともに、学校として対外的な対応を行う「責任教師(担当教員)」を置く。
- ・ 生徒の主体的で個別最適な活動になるように、生徒の要望に応じて地域の事業者や団体の方、教員の協力を得ることができるようにする。

